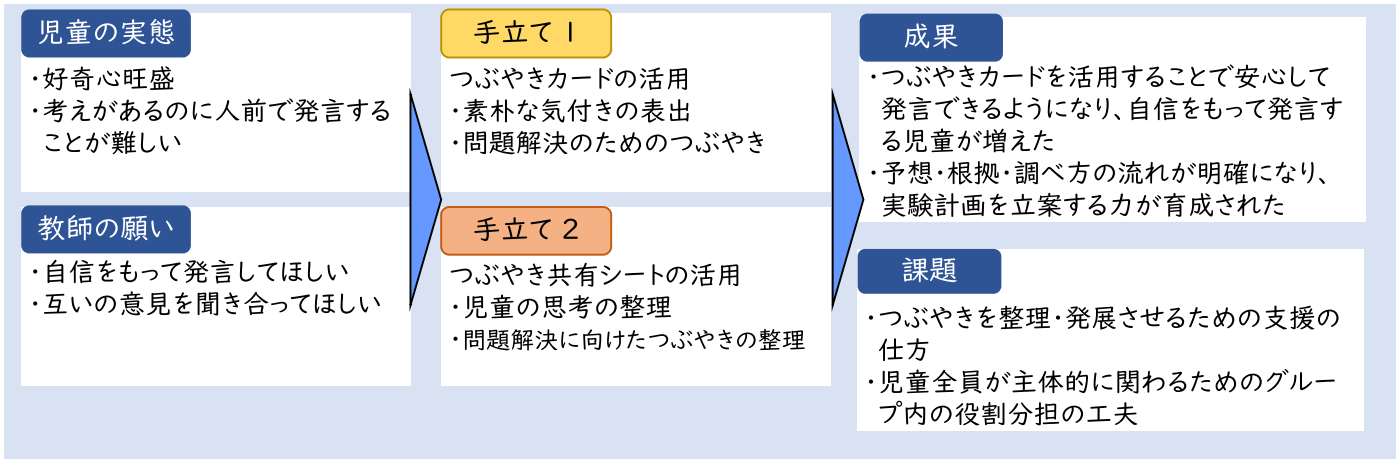


自分の考えに自信をもって発表できる児童の育成 -「つぶやきカード」と「つぶやき共有シート」の活用を通して-



特別研修員 理科 阿部 貞治(小学校教諭)



単元名:物のとけ方(第5学年) 問題「水にとけた物は、どのようにすれば取り出すことができるのだろうか」

手立て1 つぶやきカードの活用

素朴な気付きのつぶやき

「ミョウバンの粒が大きくなっている」
「混ぜてみたらガラスの破片みたい」
「ミョウバンがかき氷みたいだ」

「つぶやきカード」
誰もが自由に自分の考えを表現できるカード

根拠に基づいた予想のつぶやき

「太陽の光で蒸発させたらでてきたから、蒸発させる」
「ミョウバンは温めると溶けたから、冷やせば元どおりになる」

具体的な調べ方のつぶやき

「火を使って蒸発させる」
「氷水で冷やしてみる」
「冷蔵庫で冷やしてみよう」

誰もが安心して発言できる学習環境

手立て2 つぶやき共有シートの活用

共有シートを基に実験計画を立案

みんなの考えから蒸発させる、冷やすの二つの実験が考えられるね

「予想」「根拠」「調べ方」の視点でつぶやきを共有

予想

根拠

調べ方

つぶやきが整理されて、みんなの考えがまとまったね

共有シートを基に実験計画を検討

「たくさんの意見がでたね みんなの意見を基に実験計画をもう一回考えてみよう」

一人一人の「つぶやき」を基に自信をもって実験計画を立案